



吉田公民館だより



発行 登米市吉田公民館
 (指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会)

TEL : 0220-55-2124
 FAX : 0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



行事報告

吉田先人大学 開級式並びに第1回学習会 (7月9日)



株式会社マルシンの薄井愛氏を迎え『椅子に座ったままでできる健康体操』を教えて頂きました。34名の学級生が参加。愛先生の面白さを交えたわかりやすい説明を聞きながら体を動かし、最後には、「先生の話が面白くて、楽しく体操ができた。」「とても体が楽になった。心も体もリフレッシュできた。」など皆さんスッキリとした様子でした。

どれも簡単にできる体操ばかりなので、ぜひ家でも続けて欲しいです。

キッズサークル 第3回学習会『体験学習会 in 花山』(7月30日)



レクリエーションの様子

沢での一枚

第3回学習会は、国立花山青少年自然の家で、楽級生11名が米山と南方のジュニアリーダー6名と一緒にレクリエーションや沢活動を体験してきました。

レクリエーションでは、ジュニアリーダーの指導で楽しくコミュニケーションをとる楽級生の姿がとても印象に残っています。

その後の沢活動では、飛び込みポイントで飛び込みにチャレンジする楽級生がたくさんいたり、多くの自然に触れたり、普段の学校生活ではできないような体験・経験が出来たのではないかと思います。

「楽しかった。」「また行きたい。」など楽級生にとって夏休みの良い思い出になったようです。

今後の公民館事業予定 ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止または延期になる場合があります。

9月17日

吉田陶芸教室 第2回学習会

10月5日

吉田先人大学 第2回学習会 移動研修会「モネツアー」

館長の戯言 (ざれごと) No.1

方言は田舎の汚い言葉と思いませんか。実は方言の多くは古い時代の都の言葉、由緒正しい言葉だったのです。退屈、さびしいの意味の方言「とぜん」、漢字で書くと「徒然」、鎌倉時代に書かれた古典で有名な徒然草(つれづれぐさ)の徒然の音読みです。

ラジオの普及前は京都で新しく流行った言葉が年速約1キロメートルで全国に伝わったという研究結果があります。京都と宮城県は約800km。平安時代に都で流行った言葉が宮城県で普及するのは800年後の江戸時代、そんな悠久の旅をしてたどり着いた言葉が方言として伝わっているのです。方言は生きてる文化財です。

次回から「方言に生きる古語」(南雲堂)という本などを参考に方言の謂れを掲載します。お楽しみに。

裏面もご覧ください